

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成24年度 経済産業大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野 受賞	受賞者名
	株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社 大分工場 (現：株式会社ジャパンセミコンダクター)
	所在地 本社：岩手県北上市北工業団地 6 番 6 号 大分事業所：大分県大分市大字松岡 3500 番地
	受賞テーマ 「全員参加の 3R 活動と 3R で近隣住民とのコミュニケーション」
1. 活動継続 あり 私物ごみ持ち帰りの徹底、有価値化推進と有価物付加価値向上、従業員の 3R 見学会の開催、3R 宣言、リユースショップ、環境出前授業、E c o チャリティーバザー、ゴミ拾い等 24 年度に報告した全ての活動を継続し、リサイクル率 100%を達成。また、3R→5R(リデュース・リユース・リサイクル・リペア・リフューズ)に展開して継続。5R 活動は、全従業員が参加でき、子供たちにも解り易い活動であるため、5R 活動を通じて、省エネや環境技術の発展を促進し、コスト削減にて経営と一体化した活動を展開している。	
2. 活動の広がり あり ① 2016 年度より岩手事業所と共に新会社を設立し共同活動を展開(エリア拡大)し、『知ろう。始めよう。広めよう。5R で Go! 』をキャッチフレーズに「環境キャラクターの募集」、「5R 活動ポスターの掲示」、「事業所長による 5R 巡視」、「5R 川柳の募集」などの新規活動を実施。 5R 川柳表彰式 5R 巡視 5R ポスター掲示	
② 地域住民とのコミュニケーション 岩手事業所は「地域とはじめる環境報告会」、大分事業所は「地域住民環境交流会」と題して、地域住民や行政とのコミュニケーションを定期的の実施し、環境活動の紹介やディスカッションを実施。 岩手事業所 大分事業所	

③ 5R イベントの開催

- ・ 5R 競技会の開催 : 全部門が参加し、また、近隣企業 3 社、行政を招き分別競走や 5R 借り物競走、5R 缶の積み上げ競走、5R フリスビー等の各種競技を実施。



5R 缶積み上げ競走



5R クイズ



5R フリスビー

- ・ アルミ缶アートの作成 : 全部門よりアルミ缶を持ち寄り、全部門より有志を集めて 5m×3m のアルミ缶アートを作成。



アルミ缶アート



作成風景

3. 活動の進化 あり

- ① 体制を強化し、両事業所共通の実施計画を作成し、5R 活動展開
- ② リサイクル率 99.9%→100%達成
- ③ 内製化にてリユース品を利用した修理部隊を結成
- ④ ・ 環境省主催 平成 26 年度 環境対策に係る模範的取組表彰「環境大臣賞」受賞
・ 環境省主催 環境人づくり企業大賞 2016「奨励賞」受賞

4. 今後の計画

- ① 家庭の小型家電・不要配線等をリサイクルし収益金を社会貢献活動に役立てる (2017 年 6 月)
- ② 5 月 30 日を「ごみゼロの日」としてごみを捨てない日を設定
- ③ 夏祭りにて小型家電の回収実施 (2016 年 8 月)

5. その他 特記事項

当社は両事業所一体で、継続して活動を進める。また、10 月を 5R 推進月間とし、全員参加活動・イベントの開催・教育等を計画し、全従業員が職場や家庭で実践する Eco 従業員の育成に取り組んでいく。

(次頁に表彰概要掲載)

【表彰概要】

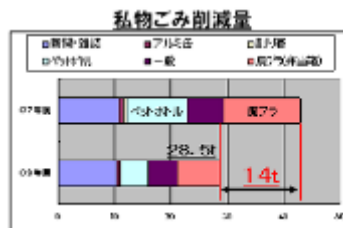
3,000 人を超える工場では、環境意識の末端までの定着はとても難しいが、同工場では、全員参加活動を展開し、従業員一人ひとりの分別意識を上げることで、3R を推進している。

また、99.9%以上のリサイクル率を実現するために、廃棄物を 150 種類以上に分別している。

◆全員参加の 3R 活動

1. 私物ごみ持ち帰りの徹底

ごみが移動するという考え方ではなく、ごみを出さない活動（マイボトル・マイ箸化）の一貫として、職場で、ごみ箱の撤去、私物ごみのチェック、マイボトルのアンケート調査を実施。その結果、マイボトル率は 2010 年の 28%から 2011 年には 68%（内、ほぼ毎日持参 48%）へと 40%向上した。



2. 有価値化推進と有価物付加価値向上

経営に役立つ環境を目指し廃棄物の有価値化を推進し、現在、廃棄物を 73 種類に分別している。

①素材別分別の導入： 以前は、廃プラスチックは、全て「廃プラ」としてリサイクルしていたが、「PC:ポリカーボネイト」や「PP:ポリプロピレン」、「PE:ポリエチレン」などの素材別分別を取り入れた結果、2011 年度には 1 億 4 千万円の有価売却額があった。

②お宝探せ： 3R 推進月間を利用し、事務所や倉庫を巡回し、不要物がいくらで売却できるかを査定した。この取組を「お宝を探せ」と命名、分別すれば資源として売却できることを PR し、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）にも繋がった。売却益を職場に戻すことでも分別を促進している。

3. 従業員の 3R 見学会の開催

工場の分別状況やリサイクルについて学んでもらうために、固形燃料工場の見学会を実施し従業員の意識向上を図り、職場の分別徹底に役立てた。

4. 3R 宣言

工場長・全部門長・常駐会社所長による 3R 宣言を実施し、23 枚の宣言書を HP で公開した。各部門では部門長の宣言に従い 3R 活動を実行した。

5. リユースショップ

2008 年から Web 上での「リユースショップ」を構築し、建屋間の情報共有を図り、リユースを促進した。

◆3R で近隣住民とのコミュニケーション

他にも、近隣住民と 3R でコミュニケーションし、「Eco 楽集会 (エコがくしゅうかい) の実施」「健康増進とコラボしてゴミ拾い（歩け歩け大会）」「環境出前授業の実施」「Eco バザーの開催」を実施している。